

SHIMAJOB ~先輩職員と後輩職員の対談~

島田市役所で働く若手職員に仕事内容や職場の雰囲気等、先輩後輩の対談形式で本音で語ってもらいました。

今回は【市長戦略部 デジタルトランスフォーメーション推進課（DX推進課）】の櫻井書記と氏原書記に語ってもらいます！

※以降デジタルトランスフォーメーション推進課はDX推進課と表記

自己紹介&DX推進課の特徴



入庁6年目・櫻井さん

櫻井：私は高卒で入庁し、入庁6年目です。課税課、すぐやる課を経て、DX推進課1年目になります。DX推進課は、デジタルトランスフォーメーション推進担当と、情報政策担当に分かれており、私と氏原さんは情報政策担当として働いています。DX推進課の仕事の特徴としては、全庁の職員とのかかわりが多く、まんべんなく他課と関わります。1年働いたら、全課で1人とは関わります。その為、1つの名字を聞くと、複数人の顔が浮かんできます。

氏原：私は中途採用で入庁し、入庁3年目です。DX推進課が初めての課となります。地元が同じで、年齢とDX推進課の経験は私が先輩ですが、社会人経験年数と役所の経験年数では、櫻井さんが先輩となります。DX推進課は、20代~30代の職員が多く、平均年齢は若いです。年齢が近いので、話しやすく、にぎやかです。みんながそれぞれ事業をもっており、自分で考えて進めていきます。役所の誰もやったことがない仕事を行っていく課なので、自由ではありますが、その分大変でもあります。



入庁3年目・氏原さん

仕事のやりがいは？

氏原：DX推進課の業務は、各職員の担当事業と大枠の目標こそ決まっているものの、毎日の業務で具体的に何をするか、どう進めていくかは決められておらず、担当者自身の意見を大切にしてもらっています。新人のときから自分の持っている業務をこれからどうしていくかをすごく考える課であり、ここが島田市の未来に繋がってきます。自分の采配次第で良くも悪くもなるので、重要な仕事をしている実感があります。もちろん、同僚や上司とは気軽に相談でき、孤独な戦いではありませんので安心してください。また、家族が目の前で自分の携わったシステムを使って申請しているところなどを目にする機会が多く、目に見える形で成果が分かる所にやりがいを感じています。市民の方から「便利になったね。」と言っただけのこともあります。

櫻井：サイトの検索数や業務時間がどのくらい削減されたか等、やることが数値化されるので、やりがいに繋がっています。担当業務の一つに「島田市わが街ガイド」の運用があります。令和3年度から窓口に行かなくても自宅や会社等、自身のパソコンで道路台帳等の情報を確認できるようになりました。どの情報が何件閲覧されたか分かるため、サイトの運用、改善に活かしています。



氏原・櫻井：DX推進課の業務は、人々の生活、島田市の未来に影響していると強く実感しています！

入庁前と入庁後のギャップは？

櫻井：入庁前は、漠然と事務仕事のイメージを抱いていましたが、座っている時間よりも外にいる時間の方が長い課があったり、1日中事務仕事をしている課もあったりと、幅広く業務を行っているなと思いました。18歳～65歳と働いている人の年齢の幅が広い為、多様な人がいるとも感じています。

氏原：こんなところでも市の職員が働いていたのかという発見がありました。特に、選挙への従事です。これまで何気なく見ていた選挙の速報も、自身が速報を打つ立場になって、身に染みて大変さが分かりました。また、入庁前に公務員に対して、お堅いイメージを抱いていましたが、実際に働いてみるとそうでもな

く、面白い人が多くいたので良かったです。

就活生へエールを！

氏原：これから就活をする皆さんは、デジタルが身近にある世代（Z世代）なので、どの課に配属されても絶対に役立ってくると思います。最近、プログラミング教育も進んできています。プログラミングの考え方は、仕事をする上で、理論立てて考えたり、状況を整理して考えたりするのに役立ちます。そういった教育を受けてきた世代の皆さんが働いてくれるのを、みんな楽しみにしていますし、頼りにしています。もちろんZ世代とは言っても、デジタルが苦手な人もいるかと思いますが、そういった人達は、苦手な人の気持ちがわかると思うので、そこを強みととらえて活かして行ってほしいです。

櫻井：しまだ大井川マラソン等の市が運営しているイベントに参加してみることで、島田市の雰囲気などを感じていただければと思います。実際に参加することで、チラシを見るだけでは分からない発見があると思います。イベントに参加し、職員の目線に立つことで、自分が働いている姿をイメージするのも良いかもしれません。また、イベントに参加し感じた率直な思いを職員になった際に活かしていただければと思います。市では色々な活動やイベントを行っていますので、HPや広報誌などを見て、気になるものがあれば是非参加してください。



皆さんとお会いできるのを楽しみにしています！

SHIMAJOB ~先輩職員と後輩職員の対談~

島田市役所で働く若手職員に仕事内容や職場の雰囲気等、先輩後輩の対談形式で本音で語ってもらいました。

今回は【行政経営部 課税課】の松野主事と山下書記に語ってもらいます！

自己紹介&課税課の業務内容



入庁8年目・松野さん

松野：私は入庁8年目で、長寿介護課で3年、課税課は5年目になります。課税課は市民税担当と資産税担当に分かれており、市民税担当は個人市民税や法人市民税、資産税担当は固定資産税や軽自動車税等の課税事務を行っています。私と山下さんは資産税担当で固定資産税の土地評価を担当しており、土地の利用状況を確認し、法令等に基づいて評価する仕事をしています。例えば、これまで農地だった土地を宅地に変更する許可が下りた場合、現地調査を行い、現況を確認して評価に反映する作業等を行っています。

山下：私は入庁2年目で、1年目のときの指導員が松野さんでした。1年目は松野さんとペアで業務を行い、仕事のやり方を教えていただきました。今も同じ係で松野さんの背中を追いながら仕事をしています。



入庁2年目・山下さん

課税課の仕事は大変ですか？

山下：納税者の方とお話しすることも多いのですが、説明にご納得いただけないこともあるので、そこはしっかり丁寧に対応することを心掛けています。

松野：市民の皆様の税金に直結することなので誤りがないよう慎重に取り組んでいます。評価に悩むことやこれまでの評価に誤りが見つかって税金をお返ししなければならないこと等大変なこともあります。土地の評価をする中で市内の土地の動きを把握できることや現地調査で行ったことのない場



所に行くことができることは面白くもあります。

人間関係・職場の雰囲気

山下：入庁して最初に思ったのは、とてもアットホームな職場だなということです。同年代の方も多いので、困ったことがあっても臆せずに聞くことができました。

松野：日頃のコミュニケーションを大切にしているので、何でも相談できる良い環境だと思います。資産税担当は年明けから年度末にかけて繁忙期であり、納税通知書発送後の5月頃も市民の皆様からの問合せ対応で忙しくなりますが、6月以降は仕事のペースを調整しやすいと思います。

山下：私は基本的には定時で帰っています。一人暮らしなので帰宅後は自炊もしています。

松野：課税課は定時で帰宅する職員が多いですね。管理職も含め早く帰る職員が多いので、若い職員が帰りにくいという雰囲気はないです。

山下：私や1年目の職員が松野さんに「一緒に帰りましょう！」って声掛けてますもんね！

松野：そうですね（笑）後輩に促されて帰る事もあり、声を掛けてもらえるのは嬉しいです。

課税課・資産税担当のみなさん



島田市役所を志望した理由

山下：島田市役所には様々な部署があり、異動のたびに転職したような気分になれるという話を聞いて興味を持ちました。いろんな分野に挑戦できるというのはとても魅力を感じます。あと、自転車で通勤できる距離というのも重視していました。

松野：私は、父が自分には公務員が合っているのではないかと話していたということを知って、公務員への転職を考えました。採用説明会で染谷市長が「島田市の未来を創る仕事ですよ」と話しているのを聞いて、そういう仕事もいいなあと考えて受験しました。

山下：松野さんは島田市の未来を創っている実感はありますか？

松野：普段やっている仕事でそれを実感するのは難しいですけど、島田市を形作る構成要素の一つとして、きっとどこかで繋がっていると思います。

島田市を受験する皆さんへエールを！

山下：島田市役所にはいろんな世代の職員がいますが、上司・先輩・後輩との縦の繋がりと同期との横の繋がりで、世代や部署の垣根を越えて皆で協力しながら働くことができます。勉強は一生懸命取り組んで、面接はハキハキ話すことができれば大丈夫だと思いますので、気合と根性で頑張ってください！

松野：集団面接や個人面接など複数回面接があるので、準備も大変ですし、緊張もすると思いますが、飾らずに自分の思いを素直に伝えるのが大切かなと思います。当日はリラックスして臨んでください。応援しています！



島田市役所で一緒に働けるのを楽しみにしています！

SHIMAJOB

～先輩職員と後輩職員の対談～

島田市役所で働く若手職員に仕事内容や職場の雰囲気等、先輩後輩の対談形式で本音で語ってもらいました。

今回は【都市基盤部 建設課】の奥山課長補佐と新村技術員に語ってもらいます！

自己紹介&仕事概要



入庁 28 年目・奥山さん

奥山：私は入庁 28 年目で、建設課道路係の取りまとめが主ですが、工事の監督、災害の対応等をしています。また、新村さんのような若手の職員を支援する役割もあります。



入庁 1 年目・新村さん

新村：自分は入庁 1 年目で、道路工事を担当させていただいています。業務としては設計や積算、また現場でどのように道路を施工するか確認し業者さんに指示しています。周りの先輩に支えていただきながら色々なことを教えてもらっています。

やりがい・大変なこと

奥山：仕事のやりがいに関しては、道路などの施設が完成した時や、また、その施設を多くの市民の方々が使ってくれているところを見るとやりがいを感じます。

新村：自分の指示で現場が動き、道路が出来ていく過程を見ることが出来ること、また完成した時にやりがいを感じます。

奥山：大変なことは色々ありますが、上司に支えられながら、職場仲間と一緒にチームワークで乗り越えています。

新村：覚えることがあって大変ですが、わからないことがあれば先輩方に教えていただけるのですごく良い環境だなと感じています！！

人間関係・職場の雰囲気



奥山:職場の雰囲気ですか。そうですね…。

新村:すごく良いと思います。自分すごく楽しいですよ！

奥山:え、本当に？

新村:職員の皆さんがすごく優しくて本当に良い職場だと思います。職場に行くのが楽しいです。とても充実しています。

奥山:自分は、若手職員との隔たりは作りたくないなと思い、課長補佐の立場ではなく職場仲間みたいな感じで接しているつもりで、特に、新村さんのような若手職員が話をしやすい環境を目指しているつもりです。

技術職として入庁後に感じたこと

奥山:自分は技師として入庁しましたが、「監督」業務について、いきなり現場で指示するというのがよくわからなくて…。まあ当時は常に怒られながら仕事を覚えました。本当に1から10まで怒られながら叩き込まれていたもので、そういった経験が今に活かしていると思います。

新村:自分も補佐と同じように、入庁して初めて具体的な仕事内容もわからないまま現場を仕切らなければいけないのが大変でした。ですが、先輩方に色々なことを丁寧に教えてもらい、今はある程度仕事に慣れつつあります。

女性技師について

新村:職員の方は「男性」「女性」ではなく、一職員として接していただいているので職場環境はすごく良いです。でもやっぱり女の子だから気を遣ってくれているのもあるのか、丁寧に仕事を教えていただいています。業者さんも普通に接していただいているので、あんまり男女の壁はないと思います。補佐はどう思いますか？



奥山:島田市の土木技術職員として、新村さんは初の女性職員ですが、今まで女性の土木技術職員がいなかったのでどう対応してよいのかわからず、初

めの頃は困惑しました。他の職員に関しても戸惑っていたのではないかと思います。さすがに今は慣れたと思いますが。

新村：自分から話しかけるのが苦手なので、皆さんに話しかけてよいのか悪いのかわからず初めの頃は戸惑っていましたが、職員の方々から話しかけていただいたので、すごく嬉しかったです。初日から補佐が話しかけてくれたり、また、どうしようか困っていたときには相談に乗っていただいたりして、すごく助かりました！

災害時の家族の理解について



奥山：娘とは普段からよく話をする仲で、互いのスケジュールを共有しています。水防[※]当番時の朝は、今日「水防当番だよ」と教えてくれます。そういった状況をわかってくれているので、トラブル対応や災害時に僕が現場に行かなきゃいけないというのには理解してくれています。

新村：家族を家に残して行くことに少し不安はありますが、どちらかというとな家族から事故に遭うんじゃないかと心配されます（笑）

※「水防」とは…水害の発生を警戒・防止することを目的とし、水門操作、その他対応を実施すること。初期水防では、水門操作を行い各河川（用水路）の氾濫を防ぐ対応、各地域のパトロールによる被害の事前把握や水害時の現場確認、その他、地域への周知等を行います。

将来の島田市のために

奥山：我々は建設課ですので、安全安心を第一に考えています。生活していく上で重要な施設を、将来にわたり常に安全安心に使用できるように努めています。また、新村さんのような若手職員を未来の島田市のために育てることも重要なことだと思っています。

新村：入庁したばかりなので大きなことは言えませんが道路等の施設は市民の生活にかかせないので、市民が安全に暮らせるようにしていきたいと思います。「道路パトロール」で道路に穴があった際はレミファルトを入れて、道路の通行に支障がないよう努



めています。全体から見たら小さいことかも知れませんが、そういったところでも市民の生活を将来に渡り支えていきたいです。

島田市役所の技術職での入庁を考えている方々へ

新村: 入庁して間もないですが、技術職という仕事に、すごくやりがいを感じ、充実した生活を過ごしています。是非、一緒に働きましょう！！

奥山: 道路等の施設を整備することは、夢がある仕事だと思っています。土木を学んでいる方々には、是非、市役所に来ていただきたいです。



是非島田市役所で一緒に働きましょう！！